

報告日 令和6年9月20日
報告回数 1日目

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	静岡県			代表者名	鈴木康友
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	経営管理部市町行財政課	連絡先電話番号	054-221-3274
担当者役職	主事	担当者氏名	渡辺 裕子	連絡先E-mail	
住所	420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	マイナンバーカード利活用等課題検討会
概要	マイナンバーカード利活用シーンの拡大に向けた県内市町に対する講演		
支援を求める分野	マイナンバー マイキープラットフォーム		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	129	令和6年9月19日	事前打合せ	オンライン
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻		
	令和6年7月31日	支援・助言	14時00分	15時00分	
				活動時間（分）	40

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	日下 光
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	10月上旬に予定している、県内市町を対象としたマイナンバーカードの利活用に関する会議に向けて、様々なアドバイスを受けることができた。また、こちらが提示した講演していただきたい内容を快諾してくださり、本県の状況に即した形で講演いただけるとのことであった。
アドバイザーへの要望事項	なし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	2人
	属性	自治体職員	住民
	人数	2	企業・団体
			その他(学生など)

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	10月上旬に予定している、県内市町を対象としたマイナンバーカードの利活用に関する検討会の調整（当県の状況の説明、講演内容、当日の流れ、事前に提供する資料等）
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	10月上旬に予定している、県内市町を対象としたマイナンバーカードの利活用に関する検討会の中で講演いただくことで、県内市町にマイナンバーカードが重要なデジタル社会のインフラであることを改めて認識してもらい、市町の組織全体としてマイナンバーカードの普及・利活用を進めていく。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	10月上旬に予定している、県内市町を対象としたマイナンバーカードの利活用に関する検討会の調整(何の資料を共有すれば良いか等)	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	10月上旬に予定している、県内市町を対象としたマイナンバーカードの利活用に関する検討会の調整(当県の状況の説明、講演内容、当日の流れ、事前に提供する資料等)	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 検討会当日の流れや講演内容について調整できた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 打合せであったため、アンケート実施無し。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他 マイナンバーカードの利活用により、より普及促進すること。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	県民がマイナンバーカードを活用して、その利便性やデジタル化のメリットを住民と行政の双方が広く享受できるようになること。マイナンバーカード一枚で出来ることの幅が広がり、住民が県内でより生活しやすく、様々な公共サービスを受け、より生活の負担が少なくなるようにすること。	

具体的にご記入下さい。
支援を受けた事業が成
因(自治体側に内在して

具体的にご記入下さい
支援を受けた事業が成
因(自治体側に内在して

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

今回、御講演でお話しいただきたい内容

- マイナンバーカード利活用の利点やその影響についての紹介
- 公的個人認証(マイナンバーカード)の住民サービスへの利活用方法
(主に日下先生がアドバイザーとして関わってきた事例があれば、そちらを中心に)
- 官民連携による事業の具体的な進め方(事業実現に至るまでの流れ等)

※ 特にマイナンバーカードを活用したデジタル認証アプリについて、民間事業者が提供する認証アプリなどとデジタル庁(国)が提供する認証アプリをどのように使い分ければよいか等に悩んでいると、市町からありましたので、お伺いできればと考えております。

<御相談させていただきたい内容>

- 実施方法(ZOOMで開催予定)
- 資料提供方法(事前に御提供いただけるか)
- 当日の進行(県内の独自利用の取組状況を当日で説明、先生の御紹介の後、御講演開始)
- 質疑受付(当日受付でよろしいか)

A 御案内中
 B 共有の確定

